



# ゆくて遥かに

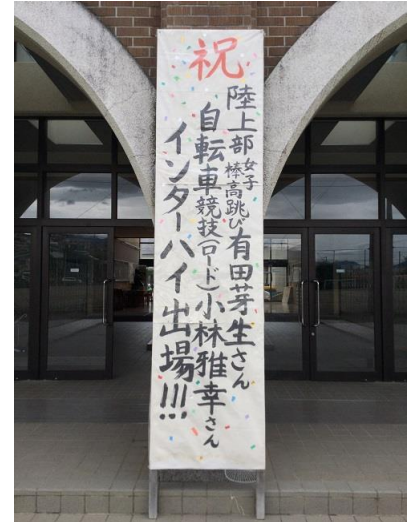
令和元年 7月 29日 (月)

第68号

長野県松本深志高等学校長

## 一学期終業式 (7月26日)

まだ、先週の時点で梅雨明けの発表はありませんでしたが、ようやく夏本番の日差しとなり、暑くなった26日の午後、一学期の終業式を行いました。昨年は熱中症対策の一環として放送で行いましたが、今年はALTのマーティーニ先生の離任式もあったため、大体育館に集まったの実施。校長講話の冒頭で、エアコンの納期が9月末となってしまった経緯について簡単に説明をして、期待に沿えなかったことを生徒にお詫びしました。今年度は平成31年度としてスタートしましたが、5月1日から令和元年度となり、正に時代の変わり目となった一学期、深志生の底力を感じさせる活動や活躍がたくさんありました。その中で特に二つ挙げました。一つは、地学会上条くんの研究「北アルプスが夕立に及ぼす影響」が、日本地球惑星科学連合2019年大会の高校生ポスター発表で、最優秀賞に選ばれたこと。そしてもう一つは、放送委員会制作班が、NHK杯全国放送コンテスト決勝テレビドキュメント部門で優勝したこと。この二人からは式の中で感想も述べてもらいました。また、「深志の同窓会に出席すると社会の第一線で活躍されている大勢の方々が出て、その活躍の分野も非常に多岐に渡っており、深志の底力、多様性、層の厚さというものも改めて実感する。これは、自由な校風や自治の精神と無関係ではないだろう、と考えている。皆さんも、1棟や講堂等で過ごしている学校生活の中で、深志の有形無形のメッセージをことあるごとに受け取っている。深志生として、人との比較ではなく、過去の自分やあるべき自分と、現在の自分を比較しながら、自分自身の成長のために、果敢にチャレンジして欲しい。一人ひとりのチャレンジの総和が、さらに深志の力を高めていく。チャレンジするメンタリティを大切に、進路実現でも深志の底力を発揮するために、準備をしっかりと積み上げる、充実した夏休みにしてほしい」と(特に3年生を)激励しました。講話の後段では、昭和42年8月1日の西穂高岳独標での落雷遭難事故について触れ、今、目の前に関わっている人を大切にする、力の出し惜しみをせず、今という時間を精一杯生きる、深志に暮らした人間として、事故の記憶は脳裏に納めて、その思いを引き継いでいてほしいと願っている、と話しました。今年が52年目の夏になります。



インハイ出場の嬉しいニュースも



ちゃっかり校長室にもエアコンが!?

感想も述べてもらいました。また、「深志の同窓会に出席すると社会の第一線で活躍されている大勢の方々が出て、その活躍の分野も非常に多岐に渡っており、深志の底力、多様性、層の厚さというものも改めて実感する。これは、自由な校風や自治の精神と無関係ではないだろう、と考えている。皆さんも、1棟や講堂等で過ごしている学校生活の中で、深志の有形無形のメッセージをことあるごとに受け取っている。深志生として、人との比較ではなく、過去の自分やあるべき自分と、現在の自分を比較しながら、自分自身の成長のために、果敢にチャレンジして欲しい。一人ひとりのチャレンジの総和が、さらに深志の力を高めていく。チャレンジするメンタリティを大切に、進路実現でも深志の底力を発揮するために、準備をしっかりと積み上げる、充実した夏休み

にしてほしい」と(特に3年生を)激励しました。講話の後段では、昭和42年8月1日の西穂高岳独標での落雷遭難事故について触れ、今、目の前に関わっている人を大切にする、力の出し惜しみをせず、今という時間を精一杯生きる、深志に暮らした人間として、事故の記憶は脳裏に納めて、その思いを引き継いでいてほしいと願っている、と話しました。今年が52年目の夏になります。

## アカシアトンボ展 (7月20日~24日)

昭和34年卒業(深志11回)アカシア会部員と令和元年部員との交流展「アカシアトンボ展」が松本市美術館の多目的ホールで行われました。たくさんの力作が並べられる中、「現役の部員と場を一緒にすることで、時の経つのも忘れるくらい楽しい時間であった」とのお話もいただきました。期間中、訪れたお客様は900名以上だったとか。世代を超えた、素晴らしい企画でした。



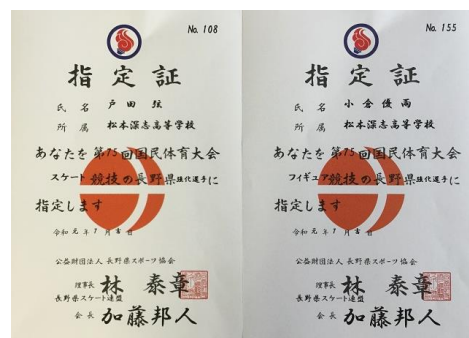
## 放送委員会制作班、全国優勝（7月25日）

第66回NHK杯全国高校放送コンテストテレビドキュメント部門で、深志28回生が卒業後に行っている「LHR」を3年の西尾さんが作品化した「最後のLHR」という番組が見事優勝を飾りました。本校制作班は、一昨年度も「鼎談深志」で優勝しています。また本コンテストのラジオドキュメント部門では、3年の山崎さんの「よひまつりは良い祭り？」が優良賞（4位相当）に選ばれています。いずれも、深志の学校文化の一面を、うまく映像化したり音声化したりして表現したもので、制作の中心となった生徒の努力が第一ですが、継続して取材を続けた歴代の生徒や、深志高校の校風とその在り方も、評価につながった面があるのでしょうか。おめでとうございます。作品は8月14日に「ティーンズビデオ2019」として、NHK・Eテレで放映されるそうです。



## その他の話題をいくつか

★ 長野県スポーツ協会から、2年の小倉さんと1年の戸田くんが第75回国民体育大会冬季大会（青森県開催）の長野県代表候補選手として指定された、との連絡がありました。小倉さんはフィギュア競技（昨年度県総体で3位に入賞）、戸田くんはスピードスケート競技（長距離、昨年度県で3位のタイム）です。練習会場等で苦勞していると思いますが、県代表として頑張ってください。



★ 第43回全国高校囲碁選手権大会が、22日～24日の日程で、日本棋院東京本院において開催され、本校棋道部囲碁班が団体戦でベスト16の壁を破り、見事7位に入賞しました。インターネットで結果を検索すると、1位開成、2位筑波大駒場、3位洛南……と名だたる高校が並ぶ中で、深志の名前が輝いていました。さらに精進を積み、より高みを目指してください。



★ 昨年の8月から本校で学んでいたアメリカからの留学生トリスタンくんが、一年間の学習を終え帰国しました。校長室では、深志高校に来て良かった、楽しかった思い出はとんぼ祭とクラスマッチ、将来はコンピューター関係の仕事に就きたい、としっかりとした日本語で話してくれました。顎にヒゲを蓄え、すっかりたくましい好青年に。今回の経験が将来につながることを願っています。



## 今週の予定（特編授業、補習）

日	曜日	行事等	その他(主に校長動向)
29	月	特編授業（1・2年） 前期補習（3年）	11区中高連絡協議会
30	火		教育長表敬 校長会事務局用務
31	水		国体長野県準備委員会
8/ 1	木	西穂遭難追悼行事	
2	金		
3	土		
4	日		
5	月	後期補習（3年）	校長会講演会